**■設計**

１．用件定義

|  |  |
| --- | --- |
| ①業務用件定義  ・システム化背景、目的、対応点  ・業務用件定義  　・全システムの業務フロー  　・システム要求一覧 | ②システム用件定義  ・機能一覧  ・画面＆帳票イメージ  ・画面遷移図  ・業務機能一覧  ・概念エンティティデータ一覧  ・外部システム連携一覧 |
| ③非機能用件定義  ・信頼性  ・性能  ・セキュリティ | ④システム方法設計  ・本システムの機能構成図  ・外部システムとの連携図  ・インフラ用件定義  　・業務量(通常,ピーク)  　・要求レスポンス時間  　・想定するハード、ソフト |
| ⑤運用用件定義  ・運用対象範囲  ・運用体制・役割  ・運用作業一覧 | ⑥管理方針  ・進捗管理  ・変更管理 |

２．基本設計

画面設計　バッチ設計　ＤＢ設計

・業務のフロー＾　　　・画面・帳票のレイアウト

・項目一覧　　　　　　・業務処理の件数

・機能概要　　　　を纏めて設計書を作ります。

３．詳細設計

・データのフロー　　　・入力パラメータ

・項目チェック　　　　・ＤＢ更新

などについて、イベントごとに分けて作ります。

**■品質確保施策**

|  |  |
| --- | --- |
| UT | 正常、異常、境界、インタフェースなどのケースを纏めてチェックリストを作成して出力項目「例えば、エラーメッセージ、ＣＳＶ、ＤＢのテーブル」をチェックします。 |
| CT | 画面、帳票、バッチを連携させてインタフェース不良、ＤＢ項目の整合性を再確認します。 |
| TT | 性能、負荷、大量データなどのテストを行います。  実際には近いデータを用いて、うまく行きますか検証します。 |

※**受入テスト「UAT」**：発注者の本来の目的や意図通りに稼働するかどうかを検証することです。受け入れテストは通常のテストと違い、システムの不具合を見つけることが目的ではありません。“実際に使うことが出来るシステム”が開発ベンダーより正しく納品されたかどうかを検証します。そのため、リリース直前の工程で行われることが多いです。